

1. 本園の教育目標

- ・しなやかで健康な心と身体をもつ子ども
- ・遊びや仕事に力いっぱい取り組む主体的な子ども
- ・自分も友だちも大切にする子ども
- ・心を動かし創造性を発揮して自由に表現する子ども

2. 評価結果について

I 教育目標・計画についての項目では、教育理念や方針については概ね理解共感をしているが、指導計画等については、保育・教育要領及び子どもの姿からの作成及び主体的な環境構成の実現には至っていない点もあった。今後は、まず目の前の子どもの姿を捉え、そこから計画を作成し、子どもが主体的に活動を展開することが出来るような環境の構成に心を注いでいきたい。

II 保育についての項目では、一人ひとりの子どもを受入れ、理解し、あたたかい言葉かけのもとに保育が行われている結果が得られた。更に保育者間の話し合い等を行って連携を図り、子どもたちの人間関係、力関係にも配慮をした保育を行っていきたい。

III 行事についての項目では行事の種類や回数、日常保育をベースにした取り組みでは課題が見られた。今後、行事のねらいを明確にし、子どもの発達にあった内容で保護者も巻き込みながら、子どもの豊かな体験の機会となるようにしたい。実施回数も含め評価、改善して

よりよいものにしていきたい。

IV 保護者への対応については、概ね丁寧な対応となっており、さらに保育の可視化を進めながら、より良い連携を目指していきたい。

V 職場のコミュニケーションの項目については、概ねコミュニケーションが図られているが、職場環境の改善についても意見の出しやすい雰囲気構築していきたい。

VI 質向上の項目については、概ね保育者としての自覚と意識が高い。今後より質の高い保育と保育者を目指して研さんを積んでいきたい。

3. 今後取り組みべき課題について

評価結果にもある通り、子ども主体で質の高い保育を目指し、子どもの興味関心に基づいた保育の展開、子どもが主体的に活動したくなる環境のあり方を探りながら、保育者同士学び合うことを大切に行っていききたい。次年度は園内研修、外部研修も充実して行っていく。行事については、日常の保育と子どもにとつての視点を大事にしながから見直し、豊かな経験の場としてのより良いかたちを目指します。

自己点検・自己評価

2020年度

幼保連携型認定こども園 金沢白百合幼稚園 回答者 28 名

I 教育目標・計画について

	評価項目	はい	いいえ	わからない	自由記載
1	園の教育理念や、教育方針を理解している。	24		1	
2	園の教育方針に共感している。	28		2	
3	園の目指す子どもの姿を、具体的にイメージできる。	25			
4	指導計画は保育・教育要領及び子どもの姿をもとに作成している。	24		4	
5	指導計画に基づいて、子どもが主体的に関わりたくなるような環境構成をしている。	24		4	
6	保育の振り返りを行い、計画の評価・反省を次の保育や計画に活かしている。	26		2	
7	子どもが安全で心地よく過ごすことができる環境を心がけている。	28			

II 保育について

8	登園時、子ども一人ひとりの健康状態について確認している。	28			
9	子ども一人ひとりの発育や発達の状態について理解している。	27		1	
10	子どもの話によく耳を傾けるようにしている。	28			

11	それぞれの子どものあるのままの姿を受け入れ、認めるようにしている。	27		
12	禁止、命令、せかす言葉や子どもの自信を失わせるような言葉や態度にならないよう心がけている。	26		1
13	子どもを褒めたり励ましたり、子ども自身が乗り越え、願いや目標を持てるような言葉かけを心がけている。	27		
14	子どもとのあたたかなやり取りやスキンシップを心がけている。	27		
15	子ども同士の仲間関係や年齢によっては力関係にも配慮をして保育を行っている。	23		3
16	子どもたちのことについて常に、保育者同士で話し合い、情報を共有しながら保育を進めている。	25		2

Ⅲ 行事について

17	行事の種類や実施回数は適切である。	13	1	13
18	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	20	1	6
19	発達にあった活動範囲を明確にし、日常保育をベースに主体的な活動にしている。	23		4
20	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	22	1	4
21	保護者の願いや意見を受けとめ、必要に応じて反映させている。	21		6

IV 保護者への対応について

22	子どもの様子は、直接話をしたり、電話・連絡帳、ドキュメンテーションなどで伝えていく。	26	2	
23	丁寧な言葉遣いと一線を引いた対応を心がけている。	28		
24	保護者からの依頼や伝言については、記録を残し、適切に対応している。	28		
25	保護者からの訴えや要望、意見については、よく話を聞いた上で、上司に報告している。	28		
26	保護者の前で園や教職員の批判は行わず、園児や家庭の個人情報については他言していない。	28		

V 職場のコミュニケーションについて

27	同僚から保育の相談を受けた時、誠意と忍耐をもって耳を傾けるようにしている。	28		
28	同世代だけでなく、年齢の違う同僚とも積極的にコミュニケーションを取るよう心がけている。	27	1	
29	上司や同僚の助言を素直に聞き、自分の考えや行動を修正することができる。	28		
30	職場環境の改善に必要と思うことがあれば、適切な場で発言や提案をしている。	23	2	3

VI 資質向上について

31	保育者の人間性が子どもに影響を与えることを自覚している。	27			
32	園内の遊具や教材の使用法や危険性について理解している。	26	1		
33	常に保育者としての専門知識や技能を向上させようと努力している。	27			
34	子どもや保育、教育に関する情報を日頃から得ようと努力している。	27			
35	職場では正しい日本語、丁寧な言葉遣いを心がけている。	27			
36	服装、髪型、身だしなみ等、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている。	26		1	